

発行 長野医療生活協同組合

〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493

E-mail:chiiki@healthcoop-nagano.or.jp

ホームページ:http://www.healthcoop-nagano.or.jp

●現勢(2019年10月18日現在)生協組合員…6万4811人 出資金…15億9738万円

# みんなの医療



事業所

長野中央病院  
南長池診療所  
稲里生協クリニック  
老人保健施設ふるさと  
徳間デイサービスたんぼぼ  
三本柳デイサービスミント  
戸倉デイサービスゆいっこ  
グループホーム栗田ゆうゆう

グループホーム南長池れんげそう  
長野中央介護センターつるが  
在宅総合ステーションながの  
(ケアマネジャー・訪問介護)  
訪問看護ステーションながの  
つるがりハビリセンター  
ショートステイつるが  
高齢者住宅つるがの風

台風19号により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。ご協力をよろしくお願いいたします。

来年は  
長野で  
開催

## 長寿を喜び合える 社会をつくらう！

### 日本高齢者大会 in 福島に参加



大会アピールを掲げて採択する参加者

記念講演は、立命館大学の安齋育郎名誉教授による「原発事故から8年半！福島の現実と原発ゼロへの道」でした。50年にわたる原発研究とその危険性に警鐘を鳴らし、今も毎月のように福島に通い、調査・学習・相談活動に取り組んでいる事。正しい原発・放射能の知識などを分かりやすい語り口で話され、人柄と相まってもつと聞きたいと思う素晴らしい講演でした。「みんなで築こう！憲法輝く原

9月25～26日、第33回日本高齢者大会が福島県郡山市で開かれ、全国から約2000人、長野医療生協からは組合員・職員あわせて17人が参加しました。

長野中央病院を朝6時30分に出発し、約6時間かけて全体会場の郡山市ユラックス熱海に到着、2日間の大会が始まりました。

#### 全国の仲間と学び、交流

初日の全体会は歓迎の挨拶の後、基調報告があり、安倍政治による年金・社会保障の改悪を許さず、改憲・消費税・沖縄の新基地建設反対、原発ゼロの日本の実現等の呼びかけがありました。



大会旗を受取る山口代表

発ゼロの日本 長寿をともに喜びあえる社会」という大会アピールを採択、次回開催地の長野県参加者がステージに上り、山口光昭代表が大会旗を受取りました。

午後4時30分に終了し、磐梯熱海温泉のホテルに入り、学習や歌声など夜の企画で遅くまで楽しみました。

2日目は、11の学習分科会と移動分科会で学びました。最近の傾向として地域・高齢者ささえあいの場、高齢者の生きがい、社会参加等のテーマに関心が高いようでした。

#### 福島の現実を訪ねる

大会終了後、長野医療生協は、福島支援視察に向かいました。

オリンピックを見越しての汚染物隠しや見える所の急ピッチの復興、住民のいない所の高速道路建設、そして進入禁止の柵が至る所にある町並み。除染できなない山間部、帰還困難区域を抱えた町、帰りたくても帰れな



集められた放射能汚染土。後方は焼却施設(浪江町)



榎葉町宝鏡寺の早川篤雄住職(福島原発避難者損害賠償請求訴訟原告団長)の話

現実がありました。さまざまな困難の中でも被災者のために、住民のためにたたかっている人びとの姿を知る事ができました。

(社保高齢期委員会)

委員長・東條勇治

#### 待合室

中国ハルビン市の郊外にある七三二部隊の遺構を訪ねました▼日中戦争中、日本軍はここで細菌戦に使用する生物兵器の研究・開発のために生体実験を極秘に行っていました。その中心にいたのは医療従事者でした▼被験者はおもに捕虜やスパイ容疑者で「マルタ(丸太)」と呼ばれ、拉致された一般女性や子どももいました。犠牲者は3000人を超えると言われます▼資料館に展示された証言と写真、数々の実験データはその非人道性を静かに訴えます。「残酷さだけを強調すれば恨みが増幅されるばかりで、戦争の本質が見えなくなる。それは本意ではありません。私たちは『事実』を知ってもらいたいです」中国人の館長さんは言います▼敷地内には終戦時、証拠隠滅のため破壊された建物もたくさん残されています。この事実をなかつたことには絶対できません。一人でも多くの人に伝えなければと強く思いました。(田)